

佐賀大学
海洋エネルギー研究センター報告
2015年度



目次

巻頭言	1
活動経緯	2
第 10 回再生可能エネルギー世界展示会への佐賀県との共同出展	3
「沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力」海洋温度差発電（OTEC）	
ワークショップへの参加および OTEC に関する覚書の締結	4
文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定	6
セミナー・シンポジウム等報告	7
第 14 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー	7
第 12 回 海洋エネルギーシンポジウム 2015（OES2015）	11
平成 27 年度 共同利用・共同研究成果発表会	13
第 2 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する	
国際プラットフォーム人材育成事業 2016	15
第 9 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー 2016	21
平成 27 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会	23
施設見学会	24
2015 年度 海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト・オープンラボ	24
2015 年度見学会実績	28
組織	29
業績集	31
学術論文	32
国際会議 Proceedings	37
国内学会発表	44
資料・解説・論説・研究報告等	50
新聞・テレビ	51

巻頭言

海洋エネルギー研究センター長

永田修一

本報告書は、平成 27 年度のセンターの活動をまとめたものです。

本センターは、文部科学省から、海洋エネルギーに関する共同利用・共同研究拠点（海洋エネルギー創成と応用の先導的共同研究拠点）として認定を頂いておりますが、平成 27 年度に、第二期中期目標期間の期末評価が実施され、平成 28 年度以降の第三期中期目標期間についても、共同利用・共同研究拠点として継続認定を頂きました。今後は、共同利用・共同研究拠点として、従来から戦略的・重点的に推進してきた「海洋温度差発電」、「波力発電」とともに、新たに「潮流発電」、「洋上風力発電」に関する基礎的・実証的研究を重点研究開発テーマとして位置づけ、関連する研究体制の整備や設備の充実を図り、海洋エネルギーに関する世界トップレベルの総合的・国際的な研究拠点を目指すこととして、今後の研究やセンター運営に関するロードマップを作成しました。

平成 27 年度は、本センターの「伊万里サテライト」と「久米島サテライト」の 2 つの研究拠点をベースに、研究面では、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電に関する研究を中心に実施しました。海洋温度差発電に関しては、NEDO の久米島での実証プロジェクトを中心に、2 段ランキンサイクルに関する研究等を行っています。久米島サテライトにおいては、海洋温度差発電の後の海水を利用して、水素製造および海水淡水化の研究を開始しております。波力発電に関しては、浮体式及び固定式の振動水柱型装置を中心に、発電性能向上に関する研究を実施しております。また、潮流発電に関しては、本センターで開発した案内羽根付衝動タービンを用いた装置の開発を行っています。

また、共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究機関から 44 件の共同利用研究を受け入れて研究を支援するとともに、海洋エネルギーシンポジウム、海洋エネルギーに関する国際セミナー、海洋エネルギーに関する合同研究セミナー、共同利用・共同研究成果発表会、本センターの研究成果発表会を実施して、関連コミュニティから多数の参加を得ました。また、「若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業」を、昨年度に引き続き実施しました。今年度は、この事業を、科学技術振興機構の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」と合同で実施して、14 か国から 24 名の若手研究者の参加を得ました。

以上の詳細につきましては、本報告書をご確認頂ければと存じます。

本センターは、業績集の発行及び年度末に行う成果発表会によって、「自己点検及び評価」を行い、外部の方々の評価及び指導を受けながら、設置目的を達成すべく運営を行っていく所存です。

今後とも、センターの運営にご協力及びご高配のほど、よろしくお願い致します。

活動経緯

期 日	行 事	会 場
2015.7.18	オープンラボ	IOES 伊万里サテライト
2015.9.3-4	第 14 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー	水産大学校 (下関市)
2015.9.15	第 12 回 海洋エネルギーシンポジウム 2015	佐賀大学 本庄キャンパス
2015.9.16	平成 27 年度 共同利用・共同研究成果発表会	佐賀大学 本庄キャンパス
2016.2.29-3.6	第 2 回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する 国際プラットフォーム人材育成事業 2016	IOES 伊万里サテライト
2016.3.14	第 9 回 海洋エネルギーに関する国際セミナー2016	佐賀大学 本庄キャンパス
2016.3.15	平成 27 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 成果発表会	佐賀大学 本庄キャンパス

第 10 回再生可能エネルギー世界展示会への佐賀県との共同出展

日付：2015 年 7 月 29 日～31 日

会場：東京ビッグサイト

佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、2015 年 7 月 29 日から 31 日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第 10 回再生可能エネルギー世界展示会」に、佐賀県との共同で出展しました。

この展示会は、再生可能エネルギーをはじめ、エネルギーと環境の全分野において、地球環境保全に貢献する製品・技術・サービス・周辺機器・情報を展示することを目的として開催（主催：再生可能エネルギー協議会、共催：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構等、後援：経済産業省、文部科学省等）する世界的な展示会で、272 社・団体が出展、3 日間を通じて約 38,000 人が来場しました。

佐賀大学海洋エネルギー研究センターのブースには、センターが開発した世界最高効率を誇る波力発電用タービンや、政府が佐賀県唐津沖海域で進める「海洋再生可能エネルギー実証フィールド」での実証実験を視野に入れ開発した新型の潮流発電装置などが展示されました。

ブースでは、国内はもとより、海外の企業・研究者・在日公館・プレスなどの来場者から積極的な質問等が寄せられ、当該分野の世界的な研究開発競争を背景とした関心の高さがうかがわれました。

また、世界展示会の併催イベントとして開催された「再生可能エネルギー世界フェア 2015」では、海洋エネルギー分野のフォーラムにおいて、永田センター長と池上副センター長が、海洋エネルギー資源利用推進機構（OEA-J）を代表して、それぞれ波力発電、海洋温度差発電における活動状況と国内外の最新動向の情報提供が行われました。このフォーラムには、定員 140 名を超える多くの参加者があり、活発な意見交換が行われました。

「沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力」海洋温度差発電（OTEC） ワークショップへの参加および OTEC に関する覚書の締結

日付：2015 年 8 月 19 日～20 日

開催地：カイルア・コナ（ハワイ島）

日米政府間協定「沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力」に基づく「第 6 回海洋温度差発電（OTEC）ワークショップ」（経済産業省・米国エネルギー省・沖縄県・ハワイ州）が開催され、佐賀大学海洋エネルギー研究センターは日本側代表の一員として参加しました。

このワークショップは、日米間で OTEC プロジェクトの課題（技術・財政・環境問題等）を解決するために 2010 年から開催されており、本センターからは、池上副センター長が OTEC ワークショップの取り組みについて講演するとともに、「沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力への提言とコナにおける 1MW OTEC 実証施設の支援」をテーマとしたパネルディスカッションにも参加しました。

また、世界最大級の取水管を設置しているハワイ州立自然エネルギー研究所（NELHA）の施設見学やハワイ州知事も参加した世界最大の OTEC プラント発電開所式が行われました。

8 月 19 日には、OTEC の特許やノウハウ、人材、技術といった知的資産等の共有を含む覚書について、本センターが参画している OTEC ジャパンコンソーシアム（OTEC-JC）を構成する 5 機関とハワイ州立自然エネルギー研究所（NELHA）、マカイ・海洋エンジニアリング（Makai Ocean Engineering）の代表者間で連携していくことの合意が表明され、覚書を締結することになりました。

今後は、ハワイ州立自然エネルギー研究所（NELHA）に設置された 1MW 用 OTEC の取水管から汲み上げた大量の海洋深層水を発電や水産物の養殖、冷熱利用、食品開発、リチウム・ウラン回収等に活用するとともに、海洋温度差発電の実現に向けた共同研究を行い、グローバルイノベーションを目指します。



活発な意見交換が行われた OTEC ワークショップの様子



連携の合意を表明する 7 機関の代表者



世界最大の OTEC プラント発電開所式

文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定

佐賀大学海洋エネルギー研究センター（海洋エネルギー創成と応用の先導的共同研究拠点）は、平成 22 年度から平成 27 年度の 6 年間に引き続き、平成 28 年度以降についても、文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点として認定されました。

本センターは、海洋エネルギーに関する科学技術を戦略的に推進する国際的な先導的中核研究拠点として、海洋エネルギーに関する研究・教育を総合的かつ学際的に行い、その研究基盤を確立するとともに海洋エネルギーの利用推進に貢献することにより、21 世紀の地球規模でのエネルギー問題と環境問題の解決に寄与することを目的としています。

その取り組みとして、“世界に先駆けて” 運転を開始した、実海水のみを用いた「海洋温度差発電実証プラント」等の世界最高レベルの海洋エネルギー利用装置を共同利用に供することにより、世界的な海洋エネルギー産業の発展に資する研究開発と関連分野の人材育成を推進しています。

今後は、共同利用・共同研究拠点として、従来から戦略的・重点的に推進してきた「海洋温度差発電」、「波力発電」とともに、新たに「潮流発電」、「洋上風力発電」に関する基礎的・実証的研究を重点研究開発テーマとして位置づけ、関連する研究体制の整備や設備の充実を図り、海洋エネルギーに関する世界トップレベルの総合的・国際的な研究拠点を目指します。



佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

2015 International Ocean Energy Symposium &
14th Joint Young Researcher Forum
第 14 回 海洋エネルギーに関する合同研究セミナー

日付：2015 年 9 月 3 日～4 日

会場：水産大学校（下関市）

海洋エネルギーに関する合同研究セミナーは、日韓の研究者における海洋エネルギー研究に関する学術交流と若手研究者の教育を主な目的として、韓国釜慶大学校、韓国海洋大学校、水産大学校、佐賀大学を中心に毎年夏に開催されています。セミナーでは、オーラルセッションとポスターセッションが行われ、海洋エネルギーやその周辺技術に関する研究について活発な討論が行われています。

今年度は水産大学校で初開催となりました。参加者数は 42 名で、17 件（口頭 7 件、ポスター 10 件）の発表がありました。セミナーでは、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電に関する研究発表が行われました。また、セミナー終了後には水産大学校の研究施設の見学が行われ、回流水槽や操舵訓練室、船用タービン等の説明が行われました。

参加大学：Pukyong National Univ. (PKNU), Korea Maritime Univ. (KMU), 水産大学校 (NFU), 佐賀大学 (IOES)

参加者数：42 名

PKNU 5 名（教職員 1 名，大学院生・学部生 4 名）

KMU 3 名（大学院生・学部生 3 名）

NFU 13 名（教職員 3 名，大学院生・学部生 10 名）

IOES 21 名（教職員 5 名，PD 1 名，大学院生・学部生 15 名）

Program

September 3rd (Thursday) 15:00-17:40		
15:00-15:10	Opening Address, Welcome Address	
Oral Session		
15:10-15:30	Comparison of Flow Boiling in Parallel- and Counter-flow Plate Heat Exchangers	Yuya Nakamura, Kohei Koyama and Hirofumi Arima, IOES
15:30-15:50	Falling Film Evaporation of Binary Refrigerant Mixture in Vertical Rectangular Minichannels Consisting of Serrated-fins	Junichi Ohara and Takafumi Nakagawa, NFU

15:50-16:10	Development of High Efficiency Root-Zone Heating System Using Bubble Jet Loop Heat Pipe	Jaeyoung Bae and Jongsoo Kim, PKNU
16:10-16:30	CFD Analysis of a Counter-rotating Tidal Current Turbine at Various Rotational Speed within a Duct	In-Cheol Kim, Nak-Joong Lee, Beom-Soo Hyun and Young-Ho Lee, KMU
16:30-16:40	Coffee Break	
16:40-17:00	Experimental Study of a Performance of an Oscillating-water-column Type Wave Energy Converter	Kohei Yamaguchi, Shuichi Nagata, Yasutaka Imai, Tengen Murakami, Kimiko Koyanagi, IOES
17:00-17:20	Hydraulic Model Test of a Floating Wave Energy Converter with a Cross-flow Turbine	Sangyoon Kim, Byungha Kim, Huiseong Jeong and Young-Ho Lee, KMU
17:20-17:40	Experimental Analysis of scaled down model of a 18.5 kW Oscillating Water Column (OWC)	Byung Ha Kim, Sang Yoon Kim, Seok Jun Cha, KMU
September 4th (Friday) 9:30-11:00 Poster Session		
P1	Heat Transfer Characteristics of Brazing Plate Heat Exchanger Sintered by Stainless Steel Powder	Jongsoo Kim and Sang-jin Park, PKNU
P2	Thermal Performance of Foldable Bubble Jet Loop Heat Pipe According to Folding Angle	Junha Kim and Jongsoo Kim, PKNU
P3	Nucleate Boiling Flow Visualization of Enhanced Heat Transfer Surface in Narrow Annular Spaces	Enhwa Hwang, Sangiin Park, Junha Kim, Jaeyoung Bae and Jongsoo Kim, PKNU
P4	Study of Solar Cogeneration System for Ships	Junya Ichinose, Junichi Ohara, Tetuya Nishida, Takahiro Ueda, NFU
P5	Experimental study of a Multi-stage Rankine Cycle Characteristics for OTEC with Ammonia as Working Fluid	Yuki Nakano, Takafumi Morisaki, Takeshi Yasunaga and Yasuyuki Ikegami, IOES
P6	The Visualization of Evaporation-Condensation and Heat Transfer Performance Analysis on Plate Type Heat Exchangers	Masayoshi Nakamura, Yusuke Kawabata, Takeshi Yasunaga and Yasuyuki Ikegami, IOES
P7	Performance Analysis of Multi-stage Rankine Cycle for OTEC -The effect of stage number on the power output-	Eisuke Kusuda, Takafumi Morisaki, Takeshi Yasunaga and Yasuyuki Ikegami, IOES
P8	Experimental Study on Generating Efficiency of a Floating OWC “Backward Bent Duct Buoy”	Yohei Ushijima, Shuichi Nagata, Yasutaka Imai, Tengen Murakami, IOES

P9	Numerical Simulation of Forced Convective Boiling Heat Transfer of FC-72 on Vertical Flat Plate	Toshiki Hashimoto, Hirofumi Arima and Kohei Koyama, IOES
P10	Numerical Analysis on Primary Conversion Efficiency of a Floating Pendulum Wave Energy Converter	Hiroshi Morikawa, Shuichi Nagata, Yasutaka Imai and Tengen Murakami, IOES



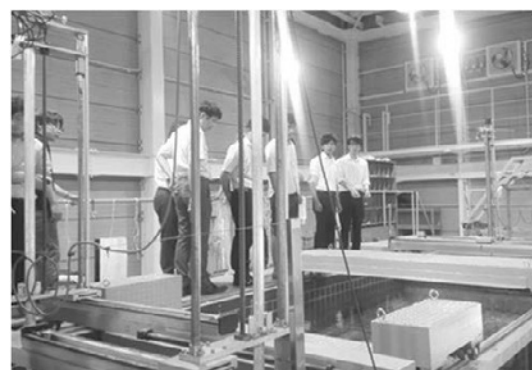
集合写真



オーラルセッション



ポスターセッション



水産大学校の研究施設の見学

第 12 回 海洋エネルギーシンポジウム 2015 (OES2015)

日時：2015 年 9 月 15 日 10:00~17:00

会場：佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館

海洋エネルギーシンポジウムは、エネルギー問題と環境問題を解決するための代替エネルギーの候補の一つである海洋エネルギーおよびその周辺技術の公開と討論の場として、毎年 9 月に本センター伊万里サテライトにおいて開催されていましたが、今年度は会場を佐賀大学本庄キャンパスに移して開催しました。

本年度は、78 名（学外 41 名 学内 37 名）の参加者があり、基調講演として三重大学 前田太佳夫先生による洋上風力発電の現状についての報告と、海洋深層水利用学会 高橋正征先生による海洋深層水及びその冷熱の利用についての講演がありました。また、一般講演として波力発電、潮流発電を中心とした 12 件の講演がありました。いずれの講演についても聴講者の関心が非常に高く、活発な討論が行われました。

講演プログラム

時間	内容	発表者
10:00-10:05	開会挨拶	センター長 永田修一
基調講演		
10:05-11:00	洋上風力発電の現状と展望	三重大学 前田太佳夫
11:00-12:00	海洋深層水； 次世代の新しい資源	海洋深層水利用学会 高橋正征
12:00-12:50	昼食	
一般講演		
12:50-13:10	振動水柱型波力発電装置の不規則波におけるシステム性能	琉球大学 鈴木正己
13:10-13:30	円筒形の OWC 型波力発電ユニットを複数配置したときの一次変換性能	九州大学 安澤幸隆
13:30-13:50	沿い波型遊水室群内の水塊運動を利用する浮体式波力発電	山口大学 羽田野袈裟義
13:50-14:10	波力による振動エネルギーを直接送電線の電気エネルギーに変換する方法	三重大学 道智寛之

時間	内容	発表者
14:10-14:30	浮体式越波型波力発電装置の提案と越波性能に関する基礎的研究	東京海洋大学 増田光弘
14:30-14:50	OWC 型波力発電装置の性能解析法への MPS 法の適用性に関する研究（第一報：固定式への適用性について）	東京海洋大学 笹原裕太郎
14:50-15:00	休憩	
15:00-15:20	七相永久磁石同期発電機を用いた大容量発電システムの検討	神戸市立工業高等専門学校 加藤真嗣
15:20-15:40	瀬戸内海における橋脚・港湾構造物利用式潮流発電技術の研究開発	広島工業大学 石垣衛
15:40-16:00	潮流発電プロジェクトにおける波浪推算技術の適用事例	日本気象協会 大西健二
16:00-16:20	潮流発電装置に及ぼす付着生物影響について	九州大学 経塚雄策
16:20-16:40	Development of RANS CFD Model for Simulation of Tidal Current Turbine Farm	九州大学 Cheng Liu
16:40-17:00	デバイス設置および季節変動を考慮した潮流発電ポテンシャルの推定	九州大学 山口創一
17:00	閉会挨拶	
18:00-	交流会	



三重大学 前田太佳夫先生



海洋深層水利用学会 高橋正征先生

平成 27 年度 共同利用・共同研究成果発表会

日時：2015 年 9 月 16 日 10:00~14:30

会場：佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館

共同利用・共同研究成果発表会は、前年度までに本センター共同利用・共同研究課題に採択された国内外の研究者による研究成果発表会です。今年度は、参加者 60 名（学外 21、学内 39 名）で、計 9 件の共同研究成果についての講演がありました。

講演プログラム

10:00-10:15	開会挨拶 H27 年度共同利用・共同研究 概要説明	センター長 永田修一
10:15-10:35	日本各地の海洋深層水中の細菌群集組成解析	東京海洋大学 寺原猛
10:35-10:55	無機粘土様物質によるイオン交換処理技術	佐賀大学（日本国土 開発株式会社） 大野睦浩
10:55-11:15	波力発電における電力単価低減への挑戦 （ハイブリッド ピストンポンプ式変速機の開発）	元室蘭工業大学 渡部富治
11:15-11:35	ウエルズタービン性能に及ぼす翼後縁形状の影響	松江高専 高尾学
11:35-11:55	海洋浮体構造物解析のための Smoothed Particle Hydrodynamics 法の検討	佐賀大学 萩原世也
11:55-13:00	昼食	
13:00-13:20	海洋温度差発電実験装置の温熱源安定化制御に関する研究	佐賀大学 後藤聡
13:20-13:40	海洋温度差発電プラント遠隔操作システムの Web アプリケーション開発に関する研究	佐賀大学 後藤聡
13:40-14:00	水平内面ら旋溝付管内蒸発におけるアンモニアとフ ロン系冷媒の熱伝達の整理	長崎大学 桃木悟
14:00-14:20	双方向流用の空気衝動タービンの潮流発電への適用 に関する研究	佐賀大学 木上洋一
14:20-14:30	閉会挨拶	副センター長 池上康之



講演の様子

2nd the Program of International Platform on Ocean Energy
for Young Researcher 2016

第2回 若手研究者のための海洋エネルギーに関する
国際プラットフォーム人材育成事業 2016

日付：2016年2月29日～3月6日

会場：佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

第2回の海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業は、昨年度実施した第1回若手研究者のための海洋エネルギーに関する国際プラットフォーム人材育成事業を継続・発展させるもので、海洋エネルギーの研究を行う若手研究者の更なる研究能力向上と、研究者間の学術交流の推進を目的とし若手研究者として「国内および海外の大学に在籍する修士および博士課程の学生、あるいは35歳以下の博士研究員および助教」の公募を行い選考し、イギリス、インドネシア、エジプト、オランダ、韓国、タイ、台湾、中国、フィジー、フィリピン、マレーシア、ミャンマーなどから、本年は14の国と地域から24名が参加しました。同事業では、海洋エネルギー研究の第一人者による特別講義、若手研究者による研究発表、海洋エネルギーの普及と課題などについての総合討論や企業視察などを実施しました。

研究発表講演会においては、各発表に対する審査が行われ、4名にベストプレゼンテーション賞が贈られました。グループ討論では、参加者を5つのグループに分け、「What is the barrier to promote Ocean Energy?」「What should we do to promote Ocean Energy?」という2つの課題に対して議論を行い、その結果を発表しました。更に、3月3日～5日の期間、伊万里と長崎の企業視察を行い、最終日の3月6日には、本事業内容を振り返り、得られた知見を議論し、次世代を担う若手研究者の人材育成とネットワーク形成に貢献しました。

Program

February 29th (Monday)	
15:00-15:30	Orientation
15:30-17:00	Tour of IOES Facility
18:00-20:00	Welcome Party
March 1st (Tuesday)	
9:00-9:10	Opening Ceremony

Special Lectures (Chairman: Hirofumi Arima, IOES)		
9:10-9:50	Ocean Energy Utilization	Takeshi Kinoshita, Nagasaki Institute of Applied Science
9:50-10:40	Advanced Off-shore Wind Energy	Yukitaka Yasuzawa, Kyushu University
10:40-11:20	Development of Wave Energy Utilization	Shuichi Nagata, Institute of Ocean Energy at Saga University
11:20-11:30	Coffee Break	
11:30-12:10	Advanced Tidal Current Energy	Yusaku Kyojuka, Kyushu University
12:10-12:50	Advanced Ocean Thermal Energy	Yasuyuki Ikegami, Institute of Ocean Energy at Saga University
Presentation by Young Researchers		
Session 1: Wave Energy (Chairman: Han Yuan, Ocean University of China)		
14:00-14:20	Policy and Situation of Wave Energy in Thailand	Duangrudee Kositgittiwon, King Mongkut's University of Technology Thonburi
14:20-14:40	The use of simulating waves nearshore (SWAN) model for the wave simulation in the gulf of Thailand	Chutipat Foyhirun, King Mongkut's University of Technology Thonburi
14:40-15:00	Preliminary simulation of wave generator by Computational Fluid Dynamics (CFD)	Trairat Jaidee, King Mongkut's University of Technology Thonburi
15:00-15:20	Ocean Wave Energy Converters : Concepts, Types and Numerical Modeling	Hyunjong Kim, Pukyong National University
15:20-15:40	General Introduction of a Novel Wave Harmonizer	Jialin Han, The University of Tokyo
15:40-16:00	Coffee Break, Group Photo	
Session 2: Tidal Energy (Chairman: Lynn Lynn, Myanmar Maritime University)		
16:10-16:30	Field Study of Tidal Current at Hmaw Won Creek (near Yangon, in Myanmar) and Model Test with Turbine	Soe Pyae Aung, Myanmar Maritime University
16:30-16:50	Design Optimization of Diffuser Augmented Duct in Tidal Current Energy Conversion	Bing-Han Lin, National Sun Yat-sen University
16:50-17:10	Use of commercially available numerical hydrodynamic modelling software to predict the effects of tidal energy extraction	Simon Mark Waldman, Heriot-Watt University

17:10-17:30	Experimental Measurements of Tidal Turbine Wakes	Mina Omori, Kyushu University
March 2nd (Wednesday) Session 3: OTEC (Chairman: Duangrudee Kositgittiwong, King Mongkut's University of Technology Thonburi)		
9:00-9:20	OTEC potential distribution in the Indonesian seas	Rino Agustianto, Darma Persada University
9:20-9:40	Geo-Ocean Thermal Energy Conversion (GeOTEC) Power Plant	Noor Haafiza Binti Mohd Idrus, Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur
9:40-10:00	Thermodynamics Modeling of Solar Pond – Ocean Thermal Energy Conversion Hybrid Power Generation System	Nur Hidayah Binti Nong Nazari, Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur
10:00-10:20	Enhancing and Protecting the Quality of Health through the Use of Processed Clean OTEC-Waste Deep Sea Water	Samihah Zura Binti Mohd Nani, Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur
10:20-10:30	Coffee Break	
10:30-10:50	Investigation of thermodynamic cycles for OTEC and electric-heated subsea power system	Yuan, Han, Ocean University of China
10:50-11:10	Investigation of the online detection for working medium composition in OTEC cycle based on the inversion method	Zhang, Ji, Ocean University of China
11:10-11:30	Design and building of an advanced OTEC research installation	Abraham Wilhelmus Harmsen, Delft University of Technology
11:30-11:50	Performance evaluation of multi-stage OTEC system based on maximum power	Takafumi Morisaki, Institute of Ocean Energy at Saga University
11:50-12:30	Lunch Break	
Session 4: Offshore Wind & Ocean Energy Utilization (Chairman: Simon Mark Waldman, Heriot-Watt University)		
12:30-12:50	Three-Blade Horizontal Axis Wind Turbine Model Analysis with NACA 4412 Airfoil 1KWp	Jaelani Sidik, Darma Persada University
12:50-13:10	Development of new marine energy in China	Huang Han, Dalian University of Technology
13:10-13:30	The ocean energy technology in processing equipment	Yu Peng, Dalian University of Technology
13:30-13:50	Potential of Marine Renewable Energy in Myanmar	Lynn Lynn, Myanmar Maritime University

13:50-14:00	Coffee Break	
14:00-14:20	Ocean Renewable Energy and Its Implications to Regional Energy Security	Mary Ann Joy Robles Quirapas, Energy Research Institute at Nanyang Technological University
14:20-14:40	Marine Renewable Energy Technologies	Aly Hassan Abdalla Abdelbaky, Universiti Teknologi Malaysia
14:40-15:00	Research and Development activities in the area of Ocean Energy at the University of the South Pacific	Krishnil Ravinesh Ram, The University of the South Pacific
15:00-17:30	General Discussions	
17:30-17:40	Best Presentation Award Ceremony	
March 3rd (Thursday)		
9:20-12:00	Guided Tour (Namura Shipbuilding Co., Ltd.)	
March 4th (Friday)		
8:45-12:00	Guided Tour (Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.)	
March 5th (Saturday)		
10:00-18:30	Guided Tour (Floating Wind Turbine)	
March 6th (Sunday)		
9:00-11:00	Short Presentation	
11:00-11:10	Closing Ceremony	

ベストプレゼンテーション賞受賞者

氏名	国籍	所属	発表題目
Jialin Han	China	The University of Tokyo	General Introduction of a Novel Wave Harmonizer
Simon Mark Waldman	UK	Heriot-Watt University	Use of commercially available numerical hydrodynamic modelling software to predict the effects of tidal energy extraction
Abraham Wilhelmus Harmsen	Netherland	Delft University of Technology	Design and building of an advanced OTEC research installation
Krishnil Ravinesh Ram	Fiji	The University of the South Pacific	Research and Development activities in the area of Ocean Energy at the University of the South Pacific



ベストプレゼンテーション賞受賞者



特別講義



若手研究者による研究発表



若手研究者によるグループディスカッション



集合写真

9th International Seminar on Ocean Energy 2016

第9回 海洋エネルギーに関する国際セミナー2016

日時：2016年3月14日 14:00~17:30

会場：佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館

第9回海洋エネルギーに関する国際セミナー(International Seminar on Ocean Energy 2016)が佐賀大学本庄キャンパス菱の実会館で開催されました。今年度は波力発電分野から英国 Queen's University Belfast の Dr. Matt Folley ならびに三井造船昭島研究所の宮島博士、海洋温度差発電分野から韓国 KRISO (Korea Research Institute of Ships and Ocean Engineering) の Dr. Hyeon-Ju Kim に講演を依頼しました。参加者数は46名(学外21名、学外25名)でした。

まず Dr. Matt Folley から "Recent developments in wave energy and future prospects" の題目で、海洋再生エネルギーに先進的な欧州の技術動向についての講演があり、波力発電装置開発はこれまで順調に商用化まで進められてきたが、近年解散する会社も幾つかあり、直面する技術的・経済的な問題について説明がなされました。2番目に Dr. Hyeon-Ju Kim からは "R&D on OTEC plant mounted offshore platform for tropical islands" という題目で韓国 KRISO の海洋再生エネルギーへの取り組み、韓国の海洋温度差発電研究の歴史、今後の展開についての講演がありました。3番目に宮島博士から三井造船の波力発電装置開発の歴史、現行プロジェクトの実海域実験、今後の展開についての講演があり、特に実海域試験機の開発と実験について詳細な説明がなされました。

講演プログラム

14:00-14:10	Opening
14:10-15:10	"Recent developments in wave energy and future prospects" Dr. Matt Folley, Senior Research Fellow, School of Planning, Architecture and Civil Engineering, Queen's University Belfast, UK
15:10-16:10	"R&D on OTEC plant mounted offshore platform for tropical islands" Dr. Hyeon-Ju Kim, Leader of Seawater Utilization Plant Research Center (SUPRC), Korea Research Institute of Ships and Ocean Engineering (KRISO)
16:10-16:25	Coffee break
16:25-17:25	"Development of the float type wave energy converter (WEC) for Japan sea area" Dr. Shogo Miyajima, General Manager, Akishima Laboratories (Mitsui Zosen) Inc., Japan
17:25-17:30	Closing

平成 27 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター成果発表会

日時：2016 年 3 月 15 日 10:00~14:00

会場：佐賀大学 本庄キャンパス 菱の実会館

本センターでは、学内外の方々へ向けて教職員の 1 年間の研究活動について報告を行うために、毎年度末に成果発表会を開催しています。成果発表会では、海洋温度差部門で 3 件、波力発電部門で 2 件、潮流発電部門で 1 件、水素関連で 1 件、計 7 件の研究発表が行われ、会場の参加者を交えた活発な意見交換も行われました。

プログラム

時間	発表題目	発表者
10:00-10:10	センター自己評価・点検	永田修一
10:10-10:30	多段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電に関する研究	池上康之
10:30-10:50	特殊コーティングアルミ板を使用したプレート式熱交換器の伝熱特性	有馬博史
10:50-11:10	休憩	
11:10-11:30	水素急速充填の熱的問題と新たな充填方法に向けての取り組み	光武雄一
11:30-11:50	固定 OWC 波力発電装置の発電効率に関する研究	今井康貴
11:50-13:00	昼食	
13:00-13:20	潮流発電装置の出力向上に関する研究	村上天元
13:20-13:40	海洋温度差発電の評価方法と最大出力に関する研究	森崎敬史
13:40-14:00	A Preliminary Study on Wave-induced Motions of a Floating WEC with a Mooring Line by SPH Method	Chen Da-Wei
14:00-14:10	閉会挨拶	池上康之

2015 年度 佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト・オープンラボ

日時：2015 年 7 月 18 日 10:00~16:00

会場：佐賀大学海洋エネルギー研究センター 伊万里サテライト

本センターでは、センターでの研究について広く一般の方々に知っていただくため、毎年、海の日前後の土曜日に伊万里サテライトにてオープンラボを開催しています。県外からの来訪者も含め、今年度は過去最多に近い 203 名（伊万里市内 53 名、伊万里市外 150 名）の方々が参加されました。オープンラボでは、本センター所属の教員やスタッフにより、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電等の模型を用いた実演などが行われました。子供向けの科学教室「電気ってどうやって作るの？」では、様々な発電装置の模型を用いた体験学習会を開き、たくさんの子供たちが参加して発電の仕組みについて学びました。

また、今年度初の「第 1 回絵はがきコンテスト」には 367 枚の作品の応募があり、その中から最優秀賞、優秀賞、入選、特別賞に小中学生 19 名の作品が選ばれ、当日午後 1 時から授賞式が行われました。

さらに、絵はがきコンテスト授賞式の後に実施された、海洋エネルギーをテーマとした公開講座では、本センター所属の教授 3 名が小中学生を対象とした講演を行いました。

展示内容

施設紹介映像	Mini OTEC
30kW OTEC 実験設備	海水淡水化実験装置
海洋深層水環境実験装置	海洋流体エネルギー実証試験水槽
水素実験装置	潮流発電実験装置
総合監視室	化学分析室
リチウム回収実験室	国際貢献展示
地域貢献展示（伊万里市）	子供科学教室

小中学生対象の公開講座

講演題目	講演者
海洋エネルギーの利用について	永田修一 教授
水素エネルギーのおはなし	光武雄一 教授
伊万里と海洋温度差発電	池上康之 教授



海洋温度差発電模型の発電実演



波力発電模型の実演



子供科学教室



水素実験装置の紹介



施設紹介ビデオの上映



絵はがき作品展示場

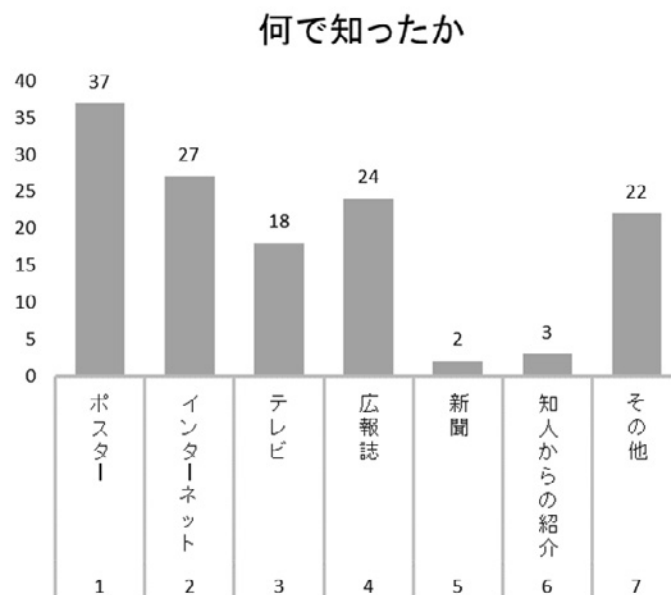


絵はがきコンテスト授賞式

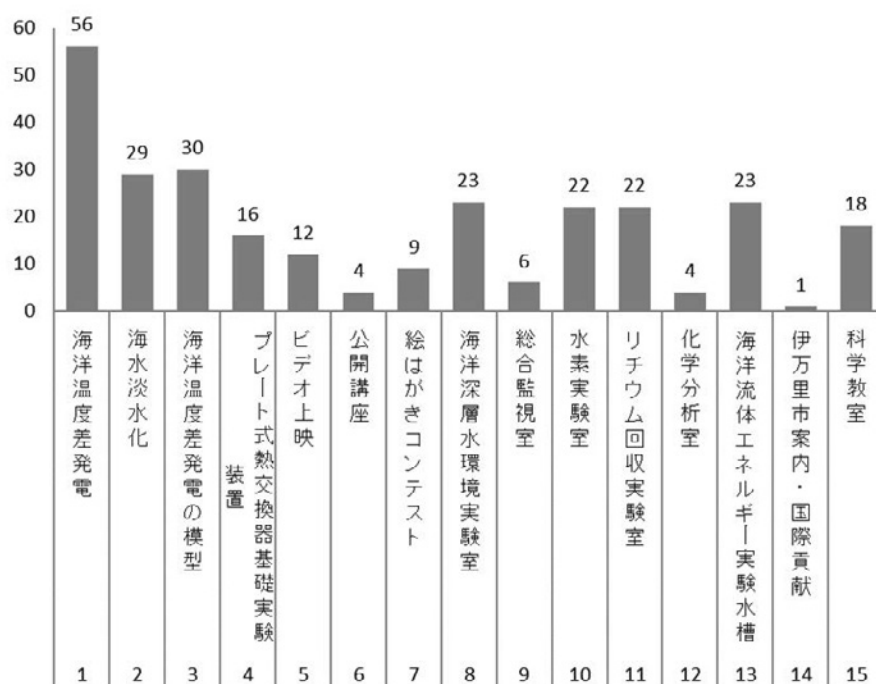
見学者内訳

職業・学校	人数
幼児	2
小学生	15
中学生	3
高校	2
大学生・院生	3
公務員	21
教員	2
会社員	24
その他	131
合計	203

アンケート結果



興味を持ったコーナー



2015 年度見学会実績

海洋エネルギー研究センター伊万里サテライト（実験施設）では、研究成果の公開およびエネルギー環境教育の推進を目的として、実験施設の一般公開を行っている。見学は研究教育の都合上、毎週祝祭日を除く木曜日と金曜日の 2 日間、午後 2 時から午後 4 時まで受け入れている。見学会は約 1 時間半のコースで、教職員が館内を案内する。また、見学者にはパンフレットを配布し、詳細な情報を提供している。

見学者内訳

所属	人数
大学・研究機関	382
行政・政府	47
財団・協会	104
民間	32
小中高等学校関係	285
メディア	6
一般	58
オープンラボ	203
その他	25
合計（うち外国人）	1142 (246)

海外からの訪問者

オランダ、タイ、カンボジア、アメリカ、リトアニア、オーストラリア、中国、フィンランド、ポーランド、バングラディシュ、インドネシア、台湾、アルジェリア、ブルキナファソ、ブルンジ、カーボベルデ、チャド、コートジボワール、モロッコ、セネガル、チュニジア、韓国、インド、ベトナム、英国、マレーシア、ミャンマー、エジプト、フィリピン、フィジー

組織

氏名	職名	備考
永田 修一	教授	センター長
瀬戸口 俊明	教授	
池上 康之	教授	副センター長
光武 雄一	教授	
杉 剛直	准教授	
有馬 博史	准教授	
今井 康貴	准教授	
小山 幸平	助教	～2015.8.31
村上 天元	助教	
安永 健	助教	
Jung Ho Yun	特任助教	2016.3.1～（研究機関研究員 2015.8.20～2016.2.29）
林 信行	教授（併任）	
野口 英行	教授（併任）	
渡 孝則	教授（併任）	
大和 武彦	教授（併任）	
荒木 宏之	教授（併任）	
檜澤 秀木	教授（併任）	
角 和博	教授（併任）	
後藤 聡	教授（併任）	
奥村 浩	教授（併任）	
川畑 佑介	研究機関研究員	
森崎 敬史	研究機関研究員	

氏名	職名	備考
Chen Da-Wei	研究機関研究員	2015.9.1～
Mutair Sami Mohammed Ismail	産学官連携研究員	
Pallav Koirala	研究機関研究員	～2015.9.30
浦田 和也	技術専門職員	
岩崎 君夫	技能補佐員	
西村 龍馬	技能補佐員	
廣 智恵	技能補佐員 (研究支援推進員)	
松本 理恵	技能補佐員	
富永 美晴	技能補佐員	2015.6.15～
香川 しのぶ	技能補佐員	2015.7.1～
馬場 美智留	事務補佐員	
前田 佳美	技術補佐員	～2015.10.31
水町 妃呂美	事務補佐員	
川崎 康子	事務補佐員	
江口 季子	事務補佐員	～2015.11.13
田中 美由紀	事務補佐員	2015.11.1～（技術補佐員～ 2015.4.30）

業 績 集

学術論文

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Matsuno, Y. Fukushima, Y. Matsuo, S. Hashimoto, T. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Investigation on Temperature Separation and Flow Behavior in Vortex Chamber	Journal of Thermal Science	24	2	149–154	2015	4
Hu, Y. Wang, Y. Li, G. Jin, Y.Z. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Effect of Perforation Number of Blade on Aerodynamic Performance of Dual-rotor Small Axial Flow Fan	Journal of Thermal Science	24	2	123–130	2015	4
Luitel, H.N. Chand, R. Watari, T.	Design and Fabrication of Long Persistent Yellow Afterglow in a Composite Phosphor via Energy Transfer Mechanism	Journal of Applied Chemical Science International	3	1	1–8	2015	4
Rayhan, U. Do, J.H. Arimura, T. Yamato, T.	Reduction of Carbonyl Compounds by Raney Ni–Al Alloy, AL Powder in the Presence of Noble Metal Catalysts in water	Comptes Rendus Chimie	18	4	685–692	2015	4
Kim, J.H. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Numerical Study of Sub-Nozzle Flows for the Weft Transmission in an Air Jet Loom	Procedia Engineering	105		264–269	2015	5
Zhang, G. Kim, Y.S. Kim, G.W. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Experimental Study of Unsteady Flow in a Shock Tube for Needle-Free Drug Delivery	Procedia Engineering	105		241–249	2015	5
Koirala, P. Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Setoguchi, T.	Numerical Analysis of Primary Conversion Efficiency of Oscillating Water Columns with Multiple Chambers	Procedia Engineering	105		586–600	2015	5
Matsuo, S. Matsuno, Y. Fukushima, Y. Mamun, M. Hashimoto, T. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Experimental Study on Temperature Separation in Vortex Chamber	Procedia Engineering	105		464–471	2015	5

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Koirala, P. Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Setoguchi, T.	A Numerical Study on Multi-Chamber Oscillating Water Columns	Journal of JSCE	3	1	93-104	2015	5
Xiang, D.D. Geng, Q.X. Cong, H. Tao, Z. Yamato, T.	Host-guest Interaction of Hemicucurbiturils with Phenazine Hydrochloride Salt	Supramolecular Chemistry	27		37-43	2015	5
Tsuboyama, S. Higashi, T. Mitsutake, Y. Illias, S.B. Mazumder, A.K. Tsubaki, K. Monde, M.	Characteristics of Transient Heat Transfer and Wetting Phenomena During Laminar Jet Quenching on Rotating Cylinder	Procedia Engineering	105		787- 797	2015	5
Soejima, H. Mitsutake, Y. Illias, S. Tsubaki, K. Monde, M.	Application of the Spray Quenching to T6 Heat Treatment of Thick A6061 Hollow Cylinder	Procedia Engineering	105		776- 786	2015	5
Mitsutake, Y. Illias, S. Tsubaki, K. Hasan M.N. Monde, M.	Boiling Transition Phenomena Beneath a Sessile Droplet on High Temperature Surface	Procedia Engineering	105		5-21	2015	5
Rahman, M.M. Hasan, A.B.M.T. Sadrul Islam, A.K.M. Matsuo, S. Setoguchi, T.	Computation of Transonic Internal Flow around a Biconvex Airfoil with Cavity	Journal of Mechanical Science and Technology	29	6	2415- 2421	2015	6
Zhang, G. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Numerical Simulation of Flow Characteristics in Micro Shock Tubes	Journal of Thermal Science	24	3	246- 253	2015	6
Hasan, A.B.Y.T. Matsuo, S. Setoguchi, T.	Characteristics of Transonic Moist Air Flows around Butterfly Valves with Spontaneous Condensation	Propulsion and Power Research	4	2	72-83	2015	6
Luitel, H.N. Chand, R. Watari, T.	A Nobel Orange-red Emitting ZnB ₄ O ₇ :Eu ³⁺ Phosphor with Urchin Like Nanostructure	Advances in Condensed Matter Physics	2015	9		2015	6

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Kowser, Z. Tomiya, H. Jiang, X. Rayhan, U. Redshaw, C. Yamato, T.	Solvents Effect and Different Fluorescence Response of 7-tert-butylpyrene-dipicolyl Amine Linkage for Selective and Sensitive Response of Zn(II) and Cd(II) Ions	New J. Chem.	39		4055-4062	2015	7
Fukushima, Y. Matsuo, S. Setoguchi, T. Shiomi, N. Hashimoto, T. Kim, H.D. Yu, S.	Effect of Nozzle Inlet Shape on Annular Swirling Flow with Non-Equilibrium Condensation	Journal of Thermal Science	24	4	344-349	2015	8
松野雄飛 瀬戸口俊明 松尾繁 塩見憲正 福島悠介	非平衡凝縮を伴う超音速環状旋回流に関する研究	ターボ機械	43	8	495-502	2015	8
Cong, H. Chen, Q. Geng, Q. Tao, T. Yamato, T.	IBX Oxidation of Benzenedimethanols in the Presence of Cucurbit [8] Uril	Chinese Journal of Chemistry	33		545-549	2015	8
木原一禎 増田光一 下迫健一郎 大澤弘敬 居駒知樹 金谷泰邦 永田修一 細川恭史	有孔ケーソンを利用した空気タービン式波力発電装置の開発	土木学会論文 集 B3 (海洋開発)	71	2	I-103-I-108	2015	9
Islam, M. Hirotsugu, T. Thuery, P. Matsumoto, T. Tanaka, J. Elsegood, M.R.J. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis and Conformational Studies of Calixarene Analogue Chiral [3.3.1] Meta- cyclophanes	Journal of Molecular Structure	1098		47-54	2015	9
Islam, M. Hirotsugu, T. Matsumoto, T. Tanaka, J. Yamato, T.	Synthesis and Conformational Studies of 9-benzyloxy-18-substituted [3.3] Metacyclophanes	Can. J. Chem.	93		1161-1168	2015	9

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Islam, M.M. Tomiyasu, H. Matsumoto, T. Tanaka, J. Rahman, S. Georgiou, P.E. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis and Conformational Studies of Chiral Macrocyclic [1.1.1] Metacyclopphanes Containing Benzofuran Rings	Org. Biomol. Chem.	13		9055–9064	2015	9
Zhao, J.L. Tomiyasu, H. Wu, C. Cong, H. Zeng, X. Rahman, S. Georgiou, P.E. Hughes, D.L. Redshaw, C. Yamato, T.	Synthesis, Crystal Structure and Complexation Behavior Study of an Efficient Cu ²⁺ Ratiometric Fluorescent Chemosensor based on Thiacalix [4] Aren	Tetrahedron	71		8521–8527	2015	10
Rahman, M.R. Labib, M.I. Hasan, A.B.M.T. Joy, M.S.H. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Control of Transonic Shock Wave Oscillation over a Supercritical Airfoil	Open Journal of Fluid Dynamics	5	4	302–310	2015	12
三島俊一 池上康之	複数の熱源を用いたカーリーナサイクルの高効率化に関する研究	日本エネルギー学会誌	94	12	1378–1386	2015	12
Ohya, H. Kawakami, S. Tanaka, T. Morino, I. Uchino, O. Inoue, M. Sakai, T. Nagata, T. Yamazaki, A. Uchiyama, A. Fukamachi, T. Sakashita, M. Kawasaki, T. Akaho, T. Arai, K. Okumura, H.	Observations of XCO ₂ and XCH ₄ with Ground-based High-resolution FTS at Saga, Japan, and comparisons with GOSAT Products	Atmospheric Measurement Techniques	8		5263–5276	2015	12
後藤和彦 後藤聡 杉剛直 松田吉隆 森崎敬史 池上康之	ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラントの簡易動的モデルの構築	システム制御情報学会論文誌	29	1	40–50	2016	1

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
伊藤修司 宮河秀和 中根秀之 後藤聡	画像処理を用いた非侵襲的眼球 運動計測装置の試作とサッケード 評価への適用	電気学会論文 誌 C	136	1	76-85	2016	1
Luitel, H.N. Chand, R. Watari, T.	CaMoO ₄ :Re ³⁺ , Yb ³⁺ , M ⁺ Phosphor with Controlled Morphology and Color Turnable Upconversion	Display	42		1-8	2016	1
Yang, W. Zhao, K.Q. Wang, B.Q. Redshaw, C. Elsegood, M.R.J. Zhao, J.L. Yamato, T.	Manganese Coordination Chemistry of Bis(imino)phenoxide Derived [2 + 2] Schiff-base Macrocyclic Ligands	Dalton Transactions	45		226- 236	2016	1
Ram P.S., V. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Effect of Vortex Generator on Cylindrical Protrusion Aerodynamics	Journal of Thermal Science	25	1	7-12	2016	2
大窪慈生 永田修一 今井康貴 新里英幸	渦法による浮体構造物の非線形 波浪中挙動解析法の開発 -第 2 報: 矩形および三角形浮体の 2 次 元動揺問題-	日本船舶海洋 工学会論文集	22		55-65	2016	2
Luitel, H.N. Chand, R. Torikai, T. Yada, M. Watari, T.	Y ₂ BaZnO ₅ :Er ³⁺ Microcapsules with Enhanced Upconversion by Vanadium Ion Cooping	RSC Advances	6	14	11554- 11561	2016	2
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Takao, M. Kim, H.D.	Numerical Analysis of the High Speed Driven Cavity Flow in 2D Curved Channel	Journal of Applied Fluid Mechanics	9	2	529- 536	2016	3
Alam, M.M.A. Setoguchi, T. Matsuo, S. Kim, H.D.	Nozzle Geometry Variation on the Discharge Coefficient	Propulsion and Power Research	5	1	22-33	2016	3

国際会議 Proceedings

著者	題名	会議名	年	月	場所
Ito, S. Miyagawa, H. Goto, S.	Development of Pupil Reflex Measurement System by Using the Non-invasive Measurement Method with Image Recognition	46th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Application	2015	5	Kyoto (Japan)
Imai, Y. Nagata, S. Murakami, T. Takao, M. Setoguchi, T.	Experimental Study of the Generating Efficiency of a Fixed Oscillation Water Column Type Wave Energy Converter	25th Int. Offshore and Polar Engineering Conf.	2015	6	Hawaii (USA)
Saito, Y. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S.	Relationship between Recuperative Effects by a Short Nap and Characteristics of its Polysomnographic Record	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)
Zhang, J. Wang, B. Zhang, T. Sugi, T. Wang, X. Nakamura, M.	Light Sleep Stage Analysis for Nap Based on ARMA and SVM	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)
Kitajima, C. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Nohiro, H. Kubota, Y.	Detection and Visualization of Abnormal EEG patterns in the ICU Monitoring	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)
Goto, K. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Fukuda, H. Goto, Y. Yamasaki, T. Tobimatsu, S.	Component Analysis of Motion and Depth-related Visual Evoked Potentials on Random-dot Stereogram Stimuli	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)
Yano, O. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Egashira, N.	Single Channel Measurement of EOG and EMG Applicable for Hands Free Remote Operation System of a Mobile Robot	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Ikenoue, T. Sugi, T. Saito, Y. Goto, K. Matsuda, Y. Goto, S. Shirakawa, S. Kogure, T.	Automatic Detection of Heat Rate and Respiratory Rate in Polysomnographic Record for Feature Analysis of Sleep Stage	2015 ICME International Conference on Complex Medical Engineering	2015	6	Okayama & Kyoto (Japan)
Deng, R. Setoguchi, T. Kim, H.D.	A Computational Study on the Thrust Performance of a Supersonic Pintle Nozzle	9th Int. Symp. on Turbulence and Shear Flow Phenomena	2015	6-7	Melbourne (Australia)
Das, R. Setoguchi, T. Ye, A. Kim, H.D.	Flow Oscillations in Supersonic Cavity-Induced Combustion	9th Int. Symp. on Turbulence and Shear Flow Phenomena	2015	6-7	Melbourne (Australia)
Morita, S. Tanimura, K. Hayamizu, Y. Yamada, T. Horibe, A. Haruki, N. Setoguchi, T.	Study of Heating and Cooling Characteristics of Working Fluid Including Phase Change Material	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Hashimoto, T. Hieda, K. Yokoo, Y. Matsuo, S. Setoguchi, T.	Experimental Study on High-Speed Particle Induced by a Micro Shock Tube	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Chu, W. Lin, P. Zhang, L. Jin, Y.Z. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Simulation and Experiment Research of Aerodynamic Performance of Small Axial Fans with Struts	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Takao, M. Okuhara, S. Takami, A. Alam, M.M.A. Setoguchi, T.	Wells Turbine with a Booster –Effect of Solidity on the Performance–	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Kim, Y.S. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Computational Study on Effects of Sub-Nozzle on Weft Transmission in Air Jet Loom	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Kong, F. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Optimization Study of a Two-Stage Ejector-Diffuser System	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Ram, V. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Effect of Vortex Generator on Cylindrical Propulsion Aerodynamics at Supersonic Speeds	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Ye, A.R. Zhang, G. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Supersonic Cavity Flows over Concave and Convex Walls	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Fukushima, Y. Matsuo, S. Setoguchi, T. Shiomi, N. Hashimoto, T. Kim, H.D. Yu, S.	Effect of Nozzle Inlet Shape on Annular Swirling Flow with Non-Equilibrium Condensation	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Matsuo, S. Fukushima, Y. Setoguchi, T. Morioka, T. Ito, M. Fujioka, S. Hashimoto, T. Kim, H.D.	Numerical Study on Low Reynolds Number Flows in Critical Nozzles	12th Int. Symp. on Experimental and Computational Aerothermodynamics of Internal Flows	2015	7	Lerici (Italy)
Zhang, G. Kim, H.D. Jin, Y.Z. Setoguchi, T.	Study on Drug Powder Acceleration in a Micro Shock Tube	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)
Sato, H. Takao, M. Okuhara, S. Alam, M.M.A. Setoguchi, T.	A Twin Unidirectional Impulse Turbine with Fluidic Diode for Wave Energy Conversion	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)
Takao, M. Takasaki K. Tsunematsu, T. Alam, M.M.A. Setoguchi, T.	Wells Turbine with 3-dimensional Blades –The Performance under Unsteady Flow Condition–	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Takao, M. Sato, H. Alam, M.M.A. Okuhara, S. Masaki, G. Setoguchi, T.	A Twin Unidirectional Impulse Turbine for Wave Energy Conversion -Effect of Rotor Blade Profile on the Performance-	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)
Ueno, S. Tsuru, W. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T.	PIV Measurement of Carbon Dioxide Gas- Liquid Two-Phase Flow	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)
Kinoue, Y. Ueno, S. Shiomi, N. Setoguchi, T.	Corner Separation around a NACA65 Blade in a Decelerating Flow	ASME-JSME-KSME Joint Fluids Engineering Conference 2015	2015	7	Seoul (Korea)
Katsube, H. Takao, M. Alam, M.M.A. Setoguchi, T.	An Impulse Turbine for Wave Energy Conversion -Effect of Guide Vane Thickness-	5th International Symposium on Technology for Sustainability	2015	8	Shah Alam (Malaysia)
Kaji, A. Kinoue, Y. Shiomi, N. Setoguchi, T.	Design of Half-Ducted Axial Flow Fan Considering the Radial Inclination of Meridional Streamline	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Shiomi, N. Kinoue, Y. Setoguchi, T.	Study on Inlet Geometry of Semi-opened Propeller Fan	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Takasaki, K. Tsunematsu, T. Takao, M. Alam, M.M.A. Setoguchi, T.	Wells Turbine for Wave Energy Conversion -Effect of Trailing Edge Shape-	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Alam, M.M.A. Sato, H. Takao, M. Okuhara, S. Setoguchi, T.	A Twin Impulse Turbine for Wave Energy Conversion -The Performance under Unsteady Airflow-	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Imai, Y. Murakami, T. Nagata, S. Takao, M. Setoguchi, T. Sakanaka, R.	A Numerical Study of Efficiency of OWC Wave Energy Converters	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Murakami, T. Imai, Y. Nagata, S. Takao, M. Setoguchi, T.	Primary and Secondary Conversion Efficiencies of Fixed Oscillating Water Column Type Wave Energy Converter	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Kinoue, Y. Shiomi, N. Mamum, M. Takao, M. Nagata, S. Imai, Y. Murakami, T. Tsugami, Y. Fujii, M.	Bi-Directional Impulse Turbine and Diffuser for Tidal Energy Conversion	13th Asian International Conference on Fluid Machinery	2015	9	Tokyo (Japan)
Yasunaga, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Multi-Stage Cycle for Advanced OTEC System in Saga University	3rd International OTEC Symposium	2015	9	Kuala Lumpur (Malaysia)
Ruoyu, D. Setoguchi, T. Kim, H.D.	LES Simulation of Trust Vector Control Using a By-pass Flow Passage	22th Int. Symp. on Air Breathing Engines	2015	10	Phoenix, AZ (USA)
Matsuda, Y. Shimada, T. Sugi, T. Goto, S. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Controller Design for Liquid Level Control of Separator in an OTEC Plant with Uehara Cycle Considering Disturbances	2015 15th International Conference on Control, Automation and Systems	2015	10	Busan (Korea)
Kitahara, H. Watari, T. Yada, M. Torikai, T. Xu, C.N. Noma, H.	Synthesis and Luminescence Properties of Eu ³⁺ -Activated Sr ₃ SiO ₅ Phosphor	JK-Ceramics 32	2015	11	Niigata (Japan)
Hiramatsu, S. Watari, T. Yada, M. Torikai, T. Xu, C.N. Terasaki, T.	Synthesis and Up-conversion Properties of ZnO-TiO ₂ :Ho, Yb	JK-Ceramics 32	2015	11	Niigata (Japan)
Setoguchi, S. Watari, T. Yada, M. Torikai, T. Xu, C.N. Terasaki, T.	Fabrication of La ₄ Ti ₉ O ₂₄ :Eu ³⁺ Phosphor for Porcelain Pigment	JK-Ceramics 32	2015	11	Niigata (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Kuriyama, K. Tomiyasu, H. Yamato, T.	Synthesis and Photophysical Properties of Novel Pyrene-fused Azaacenes	10th Saga University-Daegu University Joint Seminar	2015	11	Daegu (Korea)
Kihara, Rie. Tomiyasu, H. Yamato, T.	Pyrene-cored New [n] Helicenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties	10th Saga University-Daegu University Joint Seminar	2015	11	Daegu (Korea)
Sakaguchi, K. Tomiyasu, H. Yamato, T.	Regio-selective Substitution at the 1,3- and 6,8-positions of Pyrene for the Construction of small Dipolar Molecules	10th Saga University-Daegu University Joint Seminar	2015	11	Daegu (Korea)
Rahman, M.R. Labib, M.I. Hasan, A.B.M.T. Ali, M. Mitsutake, Y. Setoguchi, T.	Effect of Cavity on Shock Oscillation in Transonic Flow over RAE2822 Supercritical Airfoil	11th Int. Conf. on Mechanical Engineering	2015	12	Dhaka (Bangladesh)
Joy, M.S.H. Rahman, S. Hasan, A.B.M.T. Ali, M. Mitsutake, Y. Matsuo, S. Setoguchi, T.	A Computational Study on Oblique Shock Wave-Turbulent Boundary Layer Interaction	11th Int. Conf. on Mechanical Engineering	2015	12	Dhaka (Bangladesh)
Matsuda, Y. Goto, S. Sugi, T. Morisaki, T. Ikegami, Y.	Liquid Level Control of Separator in an OTEC Experimental Plant with Uehara Cycle via LQG Control Theory	The 47th ISCIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications	2015	12	Honolulu, Hawaii (USA)
Ikejiri, Y. Yamato, T.	Synthesis and Evaluations of Ditopic Receptors based on Hexahomotrioxacalix [3] Arenes	6th Joint Seminar between Saga University and Liaoning University	2015	12	Saga (Japan)
Wu, C. Yamato, T.	Triazole-modified Hexahomotrioxacalix [3] Arene as Fluorescent Chemosensor for 2,4,6-trinitrophenol (TNP) Explosive through CH Hydrogen Bonding Interaction	6th Joint Seminar between Saga University and Liaoning University	2015	12	Saga (Japan)

著者	題名	会議名	年	月	場所
Wang, C. Yamato, T.	Regio-selective Substitution at the 1,3- and 6,8-positions of Pyrene for the Construction of Small Dipolar Molecules	6th Joint Seminar between Saga University and Liaoning University	2015	12	Saga (Japan)
Feng, X. Tomiyasu, H. Yamato, T.	Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-based Blue Light-emitting Monomers	PACIFICHEM2015	2015	12	Hawaii (USA)
Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N	A Visual Supporting System for Teleoperation of a Robot Arm with Stereo Camera	21st Annual International Symposium on Artificial Life and Robotics	2016	1	Oita (Japan)
Das, R. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Study on Unsteady Rayleigh Flows	8th Asian Joint Conference on Propulsion and Power	2016	3	Kagawa (Japan)
Das, R. Ye, A.R. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Supersonic Unsteady Cavity Flows Past Curved Walls	8th Asian Joint Conference on Propulsion and Power	2016	3	Kagawa (Japan)
Deng, R. Setoguchi, T. Kim, H.D.	CFD Study of Pseudo-Shock Waves in a Rectangular Duct	8th Asian Joint Conference on Propulsion and Power	2016	3	Kagawa (Japan)
Alam, M.M.A. Sato, H. Takao, M. Kim, H.D. Setoguchi, T.	Influence of Downstream Condition on the Flow in Sonic Nozzle	8th Asian Joint Conference on Propulsion and Power	2016	3	Kagawa (Japan)
Mao, H. Lin, Z. Lin, P. Cui, B. Jin, Y.Z. Setoguchi, T. Kim, H.D.	Influence of Splitter Blades of Turbo on Flow Character of Bladeless Fan	8th Asian Joint Conference on Propulsion and Power	2016	3	Kagawa (Japan)
Yasunaga, T.	The Advanced Technology and the Future Concept for OTEC in Japan and the World	Island Environment and Climate Change in Asia-Pacific Region	2016	3	Okinawa (Japan)

国内学会発表

著者	題名	会議名	年	月	場所
浦吉大輝 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之	ウエハラサイクル海洋温度差発電プラントの線形補間を用いた発電量静的モデルの構成	第 59 回システム制御情報学会研究発表講演会	2015	5	大阪
有馬博史 緒方大智 小山幸平 井上利明	特殊コーティングアルミ伝熱面におけるアンモニアのプール沸騰熱伝達	第 52 回日本伝熱シンポジウム	2015	6	福岡
小山幸平 中村友哉 有馬博史	並流型および向流型プレート式熱交換器の流動沸騰特性の比較	第 52 回日本伝熱シンポジウム	2015	6	福岡
瀬戸口省三 渡孝則 鳥飼紀雄 矢田光徳	La4Ti9O24:Eu3+蛍光体による赤色軸の製造と特性	第 52 回化学関連支部合同九州大会	2015	6	福岡
武田真 渡孝則 鳥飼紀雄 矢田光徳	Sr2MgSi2O7:Eu2+,Dy3+蓄光体の合成と特性	第 52 回化学関連支部合同九州大会	2015	6	福岡
池尻悠亮 大和武彦	ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンへの選択的置換基導入反応	第 52 回化学関連支部合同九州大会	2015	6	福岡
富安弘嗣 大和武彦	チアカリックス[4]アレーンを基体とするヘテロナイトピクレスプターの合成と包接挙動	第 52 回化学関連支部合同九州大会	2015	6	福岡
河添博仁 大和武彦	2つの異なる認識グイをもつ 1,3-alternate-チアカリックス[4]アレーンレセプターの合成とアロステリック効果	第 52 回化学関連支部合同九州大会	2015	6	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
栗山恵輔 大和武彦	ピレンを基盤とするアザアセン類の合成と光学特性	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
一柳弥志 大和武彦	ピレンを構成要素とする青色発光物質の合成と評価	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
今村慎太郎 大和武彦	蛍光性チアカリックス[4]アレーンの合成と錯形成能評価	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
Kowser, Z. Yamato, T.	Synthesis and Evaluation of Novel Fluorescent Sensors based Pyrenes	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
Chong, W. Yamato, T.	Synthesis of Pyrene-linked Triazole-modified Homooxaclix [3] Arene as Fluorescent Chemosensor	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
Akther, T. Yamato, T.	Synthesis and Structural Properties of [n] Benzofuranophanes Derived from Intramolecular Cyclization Reaction of 1,2-dibromo [2,n] Metacyclophanes	第 52 回化学関連 支部合同九州大会	2015	6	福岡
光武雄一 副島久義 椿耕太郎 門出政則	高温面上への液滴列衝突時の非定常遷移 沸騰過程の計測	第 52 回日本伝熱 シンポジウム	2015	6	福岡
東智文 坪山真也 椿耕太郎 光武雄一	高温回転中空円筒の非定常ラミナー冷却特性	日本機械学会九州 支部長崎講演会	2015	9	長崎
福田章人 椿耕太郎 光武雄一	高温面上への液滴衝突時の非定常遷移沸騰熱伝達特性	日本機械学会九州 支部長崎講演会	2015	9	長崎

著者	題名	会議名	年	月	場所
池上康之 川畑佑介 森崎敬史	3D プリンターを用いたプレート式熱交換器における蒸発および凝縮現象の可視化に関する研究	第 43 回可視化情報シンポジウム	2015	7	東京
木暮貴政 池之上貴文 齊藤優介 杉剛直 白川修一郎	シート型体振動計による心拍数計測の精度検証	日本睡眠学会第 40 回定期学術集会	2015	7	栃木
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	衝動タービンを有する固定式振動水柱型波力発電装置のエネルギー変換効率	第 25 回海洋工学シンポジウム	2015	8	東京
有馬博史 小山幸平 緒方大智	アンモニア用プレート式熱交換器へのアルミ合金の使用に関する研究	日本機械学会九州支部長崎講演会	2015	9	長崎
楠田英佑 森崎敬史 安永健 池上康之	多段ランキンサイクルにおける伝熱性能と段数の影響	日本機械学会九州支部長崎講演会	2015	9	長崎
中村真嘉 川畑佑介 安永健 池上康之	プレート式熱交換器の二相状態における可視化と伝熱性能	日本機械学会九州支部長崎講演会	2015	9	長崎
Yano, O. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Egashira, N.	Measurement of EOG and EMG Using DC Amplifier and its Application to remote Operation System for a Mobile Robot	ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2015	2015	9	福岡
Yanai, H. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Assistant System for Mobile Robot Arm Operation by Using Visual Servo	ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2015	2015	9	福岡
Saito, Y. Ikenoue, T. Sugi, T. Matsuda, Y. Goto, S. Kogure, T. Shirakawa, S.	Automatic Detection of Heat Rate and Respiratory Rate During Sleep and its Relation to Sleep Stage	ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2015	2015	9	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
末次輝章 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電プラント遠隔監視 Web アプリケーションの開発	平成 27 年電気学会産業部門大会	2015	9	大分
Das, A.K. Yano, O. Matsuda, Y. Sugi, T. Goto, S. Egashira, N.	Real Time EOG Processing and Detection for Mobile Robot Control Using a DC Amplifier	平成 27 年電気学会産業部門大会	2015	9	大分
有馬博史 小山幸平 緒方大智	コーティングされたアルミのアンモニア沸騰環境における使用可能性	熱工学コンファレンス 2015	2015	10	大阪
安永健 森崎敬史 池上康之	低温度差発電のエクセルギーと熱機関の最大出力を用いた評価方法の検討	熱工学コンファレンス 2015	2015	10	大阪
永田修一 今井康貴 村上天元 森川大	浮体型振り子式波力発電装置の性能に関する数値解析	日本船舶海洋工学会平成 27 年秋季講演会	2015	11	東京
今井康貴 永田修一 村上天元 牛島洋平 瀬戸口俊明	後ろ曲げダクトブイ型波力発電装置の発電性能に関する実験的研究	日本船舶海洋工学会平成 27 年秋季講演会	2015	11	東京
木上洋一 塩見憲正 高尾学 永田修一 今井康貴 村上天元 津上由起夫 藤井基史	潮流発電用の往復流型ディフューザーの数値解析	日本機械学会第 93 期流体工学部門講演会	2015	11	東京
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	固定式振動水柱型波力発電装置の効率向上に関する実験的研究	日本機械学会第 93 期流体工学部門講演会	2015	11	東京

著者	題名	会議名	年	月	場所
有馬博史 松田昇一 稲富諒	海水淡水化用プレート式熱交換器に関する研究 -第一報 コーティングアルミプレートの伝熱性能の評価-	第 19 回海洋深層水利用学会全国大会	2015	11	沖縄
池上康之 岩崎君夫 安永健 浦田和也 兼島盛吉	久米島海洋深層水を利用した海水淡水化装置の連続運転	第 19 回海洋深層水利用学会全国大会	2015	11	沖縄
安永健 森崎敬史 池上康之	多段ランキンサイクルを用いた OTEC による海水流量低減の検討	第 19 回海洋深層水利用学会全国大会	2015	11	沖縄
後藤和彦 杉剛直 福田裕樹 後藤純信 山崎貴男 飛松省三	異なる刺激条件に対する視覚誘発電位頭皮上分布の特徴解析	第 45 回日本臨床神経生理学会学術大会	2015	11	大阪
浦吉大輝 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之	設置時の制約条件を考慮した海洋温度差発電ポテンシャルモデルの構築	第 58 回自動制御連合講演会	2015	11	兵庫
島田典 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之	海洋温度差発電プラント温熱源の熱伝達を考慮した温水温度モデルの構築	第 34 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2015	11	福岡
末次輝章 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 森崎敬史 池上康之 江頭成人	2 段ランキンサイクルを用いた海洋温度差発電シミュレータの Web アプリケーション開発	第 34 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2015	11	福岡
瓜生英紀 松田吉隆 後藤聡 杉剛直	水槽水位制御装置における水位制御の分散行列を用いた異常検出	第 34 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2015	11	福岡
柳井宏伸 松田吉隆 杉剛直 後藤聡 江頭成人	テンプレートマッチングと画像モーメントを用いた移動型ロボットアームの遠隔操作システム	第 34 回計測自動制御学会九州支部学術講演会	2015	11	福岡

著者	題名	会議名	年	月	場所
瀬戸口修三 渡孝則 鳥飼紀雄 矢田光徳 徐超男 寺崎忠	La ₄ Ti ₉ O ₂₄ :Eu ³⁺ 蛍光体の製造と特性	平成 27 年度九州 支部秋季合同研 究発表会	2015	11	佐賀
武田真 渡孝則 鳥飼紀雄 矢田光徳 徐超男 野間弘昭	Sr ₂ MgSi ₂ O ₇ :Eu ²⁺ , Dy ³⁺ 蓄光体の製造と特 性	平成 27 年度九州 支部秋季合同研 究発表会	2015	11	佐賀
北島千裕 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU 記録脳波における周期性放電の自動検 出～データベースに基づいた閾値設置～	ME とバイオサイ パネティクス研究 会	2016	1	鹿児島
北島千裕 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU 記録脳波における周期性放電のデー タベースに基づいた自動検出	2016 年日本生体 医工学会九州支 部学術講演会	2016	3	佐賀
蓑田将也 相川定慶 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 山崎貴男	USB カメラを用いた眼球運動特徴検出によ る重度運動障害患者のコミュニケーション支 援システム	2016 年日本生体 医工学会九州支 部学術講演会	2016	3	佐賀
大庭尚之 後藤和彦 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 池田拓郎 山崎貴男 飛松省三 後藤純信	上下半側空間視野刺激時の視覚誘発電位 の特徴解析	2016 年日本生体 医工学会九州支 部学術講演会	2016	3	佐賀
東明純輝 杉剛直 松田吉隆 後藤聡 野平晴彦 久保田有一	ICU 記録脳波に対する複数形パターンを考 慮したスパイク自動検出	2016 年日本生体 医工学会九州支 部学術講演会	2016	3	佐賀

資料・解説・論説・研究報告等

著者	題名	雑誌名	Vol.	No.	ページ	年	月
Mu, Q. Arima, H. Bian, Y. Ikegami, Y.	Flow Characteristics in Grooved Channel with Different Groove Lengths for Steady Flow	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		1-6	2015	10
有馬博史 緒方大智 小山幸平 井上利明	コーティングされたアルミ伝熱面におけるアンモニアおよびアンモニア/水のプール沸騰熱伝達	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		7-14	2015	10
小山幸平 中村友哉 有馬博史	並流型および向流型プレート式熱交換器の流動沸騰特性の比較	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		15-19	2015	10
森崎敬史 安永健 池上康之	海洋温度差発電ポテンシャル評価	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		21-31	2015	10
村上天元 今井康貴 永田修一 高尾学 瀬戸口俊明	衝動タービンを有する固定式 OWC 型波力発電装置の高効率化に関する実験的研究	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		41-49	2015	10
今井康貴 坂中理恵子 永田修一 村上天元	固定式振動水柱型波力発電装置の性能に関する数値シミュレーション	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		59-65	2015	10
木上洋一 塩見憲正 高尾学 永田修一 今井康貴 村上天元 津上由起夫 藤井基史	双方向流用の空気衝動タービンの潮流発電への適用に関する研究	佐賀大学海洋エネルギー研究センター報告「OTEC」	20		67-71	2015	10
永田修一	浮体式波力発電システム	マリンエンジニアリング	50	1	48-53	2016	1
池上康之	再生可能エネルギーにおける安定電源の役割を目指す海洋温度差発電の新しい展開 - 沖縄・久米島から始まった海洋温度差発電の系統連系	マリンエンジニアリング	50	1	54-58	2016	1

新聞・テレビ

掲載年月日	タイトル	掲載紙
2015. 4. 3	オランダ駐日大使 知事訪問 東京五輪キャンプ地 県推薦を伝える＝佐賀	西部読売新聞
2015. 4. 6	淡水化と発電 同時に/佐賀大、久米島施設を公開	琉球新報朝刊
2015. 4. 12	海水淡水化装置が稼働/佐賀大久米島サテライト 施設を公開	沖縄タイムス
2015. 6. 10	海洋エネ産業支援強化 嘉達志加部島沖に佐賀県が装置 実証企業など誘致	日刊工業新聞
2015. 7. 2	「海とエネルギーと夢」小中学生を対象に絵はがきコンクール	西日本新聞 朝刊
2015. 9	先端技術で目指す久米島モデル/久米島モデルの確立を目指す	広報誌「宿道」39号 (株)沖縄建設新聞
2015. 9. 18	Japan partners on OTEC project	PACIFIC BUSINESS NEWS
2015. 10. 1	海洋温度差発電 競う/米、日本抜き最大出力/仏も構想	日経産業新聞
2015. 10. 3	学部改組、『教教分離』を促進 佐賀大学 宮崎学長が就任会見/海洋エネなど重点支援	佐賀新聞
2015. 10. 3	宮崎大、佐賀大 新学長が就任/芸術感性育てる	日本経済新聞
2015. 10. 19	日本先行の海洋温度差発電 欧米が実用化で猛追	日本経済新聞電子版 セクション
2015. 10. 25	海洋エネ 新たな産業に/企業や住民 巻き込み議論を	読売新聞
2015. 11. 6	水素使い電力貯蔵 県 産学で研究会発足/再生可能エネ利用拡大へ	佐賀新聞
2015. 11	キャロライン・ケネディ米国駐日大使 久米島初訪問	広報くめじま 2015年11月号
2015. 12. 2	海洋エネ調査 開始/佐賀・唐津市加部島沖で実施	日本経済新聞
2015. 12. 8	佐賀を海洋エネ先進県に/産学官 67 団体で研究会	佐賀新聞
2015. 12. 18	海洋エネ、佐賀に新組織/洋上風力など産学官研究	日刊工業新聞
2015. 12. 20	久米島の中学生 海洋エネで学ぶ/交流事業で佐大訪問	佐賀新聞

放映年月日	タイトル	TV 局
2015. 11. 15	サイエンス ZERO 温泉が電気を生み出す！ 注目の低熱発電	NHK E テレ

